

# 英文法に関する授業の一例

樟蔭中学校・高等学校英語科常勤講師 藤井蓉子

## 1. はじめに

本稿では、高校1年生の特進コースで行っている文法授業の一例を紹介する。本授業は、研究授業として数名の先生方にご覧いただき、英語科の先生方にもビデオ視聴いただいたものである。授業者は2年目の教員であり、未熟な授業ではあるが、授業の内容と、ビデオ視聴の際に出た議論をもとに、ここに報告させていただく。

## 2. 研究授業報告

日 時：2016年6月20日（月）第3講時

対 象：1年生組 43名

教科書：DUAL SCOPE English Grammar in 27 Stages

単元名：不定詞

指導内容：① too...to~ と so...that S cannot~ の書き換え

② ...enough to~ と so...that S can~ の書き換え

目 標：so...that~ の使い方を理解し、too...to~/...enough to~ との書き換えができるようになる。

クラス観：全体的に真面目で、集中して授業に取り組んでいる生徒が多い。音読練習やペアワークにも積極的に取り組む姿勢が見られる。

指導観：本時では、必要に応じて板書を取り入れながら、自作のプリントを中心に授業を進める。本時で扱う too...to~/...enough to~ は、中学校で既習の文法項目であるが、so...that~ との書き換えは高校内容である。複数の例文を提示し、ペアワークでの口頭練習を取り入れることにより、スムーズに理解し定着できるようにする。

授業の進め方：

| 指導事項        | 指導内容  | 生徒の活動  |
|-------------|---|--|
| 導入          | 小テスト（前回の復習）   | ・ 日本語を英語に直す。   |
| 展開<br>(40分) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例文プリントを配付する。</li> <li>・ 左側の例文（１）～（３）を音読しながら、訳を確認する。</li> <li>・ 右側の例文（１）～（３）を音読する。</li> <li>・ too...to~ と so...that S cannot~ の書き換えを説明する。</li> <li>・ （６）～（８）についても同じ要領で進める。</li> <li>・ ...enough to~ と so...that S can~ の書き換えを説明する。</li> <li>・ ペアで言い換えの練習をする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師に続いて、大きな声で音読する。</li> <li>・ あてられた生徒は訳を答える。</li> <li>・ プリントの左側を見ながら、右側の例文を言う。正しく言い換えられているかチェックし合う。</li> </ul> |
| まとめ         | ・ 小テストの予告   |  |

使用教材（自作プリント。一部抜粋）：

|   |   |
|---|---|
| too...to~ / ...enough to~                             | o...that S cannot~ / so...that S can~                   |
| (1) His son is too young to travel alone.             | (1) His son is so young that he cannot travel alone.    |
| (2) I am too busy to help my mother.                  | (2) I am so busy that I cannot help my mother.          |
| (3) The problem is too difficult for me to solve.     | (3) The problem is so difficult that I cannot solve it. |
| (中略)  |   |
| (6) Mary is rich enough to buy a house                | (6) Mary is so rich that she can buy a house.           |
| (7) She was kind enough to carry my bag.              | (7) She was so kind that she carried my bag.            |
| (8) This dictionary is small enough for you to carry. | (8) This dictionary is so small that you can carry it.  |
| (後略)  |   |

### 3. 先生方からのご意見

#### <良かった点>

- プリントが効果的（反復練習しやすい）で、テンポよくわかりやすい授業だった。
- プリントで例文を複数提示していた。
- 板書の色分けが統一されていた。
- 「～できるようになって帰ってほしい」という声掛けにより、本時の目標が簡潔に示されていた。
- 書き換える際の注意点が明確であった。

#### <アドバイス・気になった点>

- 電子黒板の文字はプリントのまま映すと見えにくいので、フォントを変えた方が良い。
- 全ての例文を説明するのではなく、一文だけ説明した後にペアで訳させると、説明の時間を短縮できる。
- 説明が長いと集中力が切れやすいので、途中にもペアワークの時間をとる。
- 例文を音読する際に、一文で読むよりも、意味の句切れごとに読んだ方が、生徒は理解しやすい。
- 穴埋めや時制の変換、日 → 英の変換など、ペアワークにもバリエーションを取り入れて、めりはりをつける。
- ペアワークの後に、2, 3組あてたり、全員で音読練習をしたりして、授業中に生徒の着度を確認する。
- so...that~ にだけ特化するのではなく、構文を3, 4種類紹介する。
- 音読する際には、プリントではなく電子黒板を見るように促す。
- 生徒をあてて答えさせた時、生徒の声が小さく他の生徒に聞こえにくかった。

### 4. おわりに

本授業では、一枚のプリントに同じ構文の例文を複数提示し、ペアで練習させることで、この構文のパターンを授業中に理解させることをねらいとした。あえて so...that~ の too...to~ /... enough to~ との書き換えに内容を絞り、基礎の確実な定着を図った。しかし、何人かの先生方からご指摘いただいた

ように、内容が狭く、ワンパターンであったために、全体としてめりはりのない授業となってしまった。

特進コースといえども、近年では低学力層の生徒も多く入学してきている。そのような生徒の英語力を効率的に伸ばすためにも、生徒が授業に対して主体的に取り組めるような工夫を取り入れていくことが、授業者の今後の課題である。

今回、英語科の先生方からいただいた貴重なアドバイスをもとに、授業力を向上できるよう努めていきたい。